

「持続可能な地域づくり」への取り組み



【秋】豊茂ふるさとまつり



【春】こいのぼり



【冬】豊茂イルミテヤ



【夏】アジサイ



豊友会 会長  
菊岡 禎巳  
(大洲市)

豊茂地区及び豊友会の概要

私達が活動の場としている大洲市豊茂地区は、大洲市中心地から車で約30分、県都松山市からは約1時間30分のところに位置し、殆どが山地となっています。

人口約550人、高齢者率約37%、地区の主な産業は椎茸や米、ミカン栽培等ですが、殆どの者が長浜や大洲の会社に勤めています。平成23年には小学校が長浜地区で1箇所となるため、豊茂地区の小学校も廃校予定となるなど、厳しい生活環境ですが、地区内には霊峰金山出石寺があり、毎日出石寺を見上げながら、仲良く助け合って生活を送っています。

「豊友会」は昭和42年に山村の過疎化を危惧する青年団を

終えた若者が、交流を深めながら我がふるさとを守るうと結成し40年を迎える歴史のある団体です。自主運営によって、今日まで親睦や自己研鑽を深めながら、地域づくりに努めてきました。



秋の花植

現在の会員数は、24名で年齢は40代、50代が殆どです。

活動方針は、①地域発展のため積極的に取り組む。②会員相互の親睦を深め、助け合いながら地域の輪を広げ、心の触れ合う豊茂づくりを進める。③研鑽を深め、文化的で体も心も豊かな地域づくりを目指す。こととしており、また今年のキャッチフレーズを、「明るく・楽しく・前向きに」としています。

【春】こいのぼり揚げ

(大和川上空に100匹程のこいのぼりが元気に泳ぎます。)

【夏】アジサイロードの植栽、管理

(県道長浜保内線沿いにアジサイが咲き誇ります。)

【秋】豊茂ふるさと祭り

(ハザー出店、大和川上空にこいのぼりとパネルを掲揚します。)

【冬】イルミネーション祭り

『通称・豊茂イルミネーション祭り』

(巨大クリスマスツリー・空を駆けるトナカイなど)

※年間を通して、アジサイロードや県道花壇での花いっぱい運動等を実施しています。

愛媛大会に向けての取り組み

思い起こせば昨年(平成19年)の秋、豊友会発足40周年記念大会や、イルミネーション事業、秋祭りの準備等で忙しい頃でした。「来年愛媛県で開催される地域づくり全国研修交流会の分科会を豊友会でやってみませんか。」との言葉に、これも何かの縁、こちらも来ていただく方から勉強させてもらう良い機会になればと思い立ちました。後になって、全国大会での発表とは大変なことになったと思いましたが、メンバーには「そういう事なので、みんなよろしく、とにかくよろしく、わっはっは！」とお願ひし、この日から豊友会の全国大会に向けての取り組みがスタートしました。

最近では5月下旬にも地区内の食堂へ集まって、詳細な計画の検討や主な担当

者等について協議しました。珍しく食事もせず真剣な話し合いが行われ、今後うまく進んで行けるものと安心をしたところです。今後さらに細かい日程や発表について詰めを行い、本番に備えたいと思います。

今回の分科会は、十分満足いただけるものになると考えていますが、会員が協力し上手く役割分担しながら進めていくことで、会員のスキルアップにもつながっていくのではないかと考えています。

分科会のアピールポイント

分科会では、持続可能な地域づくりの取り組みというところで、豊友会の発足以来40年間の活動状況や地域づくりの取り組みについて詳しくお伝えしながら研究を深めていきます。

私達の活動は、最初にしつかりとした理論を立てて進めているわけではありません。10年毎の記念大会や、研修等での発表の際にこれまで



みんなで取り組む花壇づくり 笑顔!

の活動を振り返ってみて、「ああ、自分達はこのことをやっていたのか。結構良い流れだったんだな」と、改めてしみじみ考えるのがいつものパターンです。ですので、今回の分科会では、皆さんから違った目で見えていただくことで、さらに私達の気づかない持続の秘訣が明らかにされるのではないかと楽しみにしています。

愛媛大会に向けての意気込み

今までどおり「みんなでやれば必ずできる」を合言葉に、準備作業をどんどん進めています。

また、今回の大会を成功させるためには、県外からの参加者を愛媛県へ迎えてから見送るまで、全ての日程を通して評価していただけるように、基本となる分科会の研究討議はもちろん、美しい風景や人情、グルメなど、地元らしさを十分にアピールし盛り上げていきたいと会員一同張りきっています。